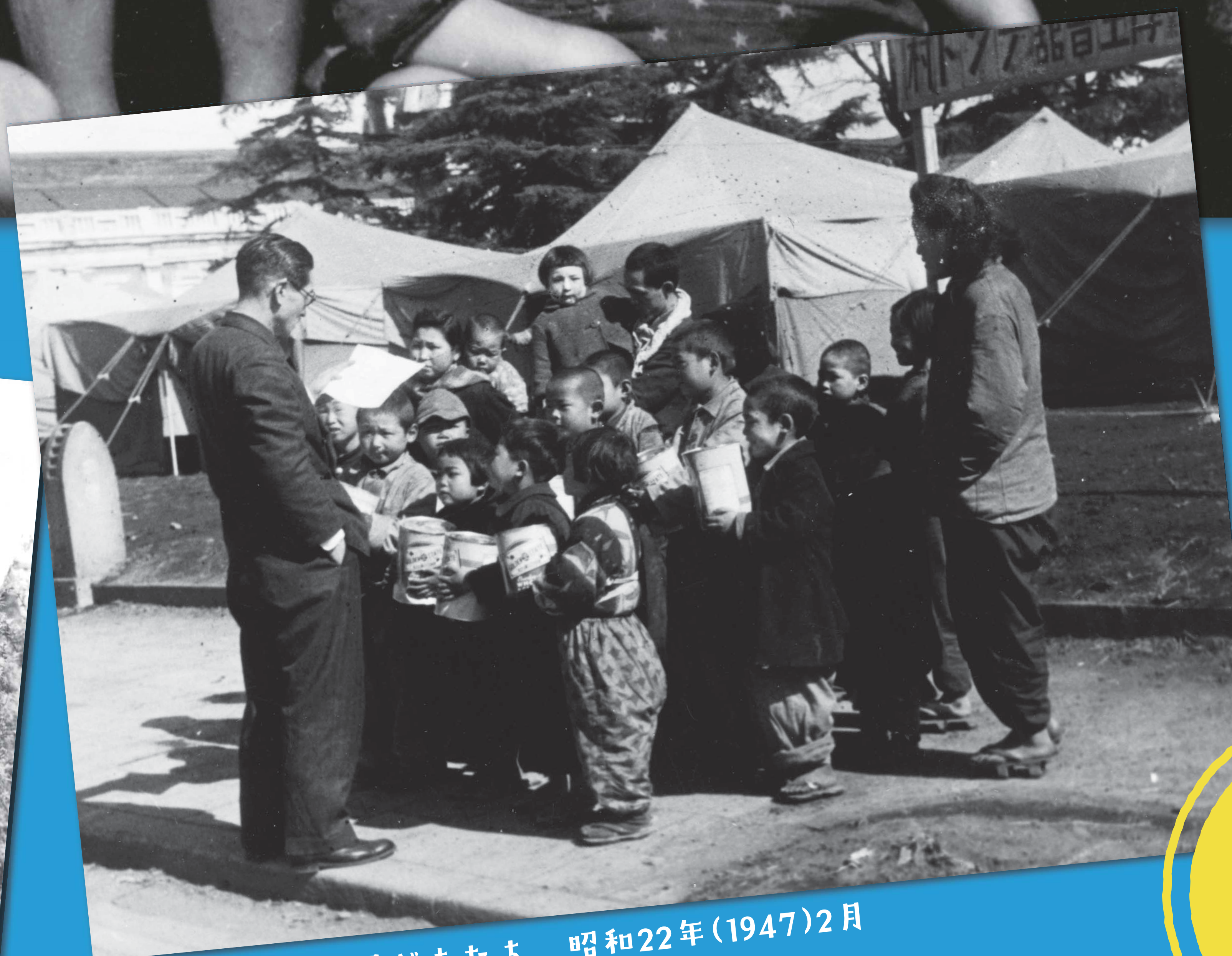




ビスケットを受け取り、喜ぶ子どもたち 昭和25年(1950)6月



ララに感謝する住民 昭和23年(1948)



食糧を手にする子どもたち 昭和22年(1947)2月

入場
無料

ララ物資

～太平洋を渡って差しのべられた救いの手～

※ L A R A = Licensed Agencies for Relief in Asia

平成28年 9/17(土) ▶ 12/25(日)

会場：昭和館2階ひろば

開館時間：10:00～17:30(入館は17:00まで)

休館日：毎週月曜日(祝休日の場合は翌日)



給食を食べる子どもたち 昭和24年(1949)



横浜港の埠頭で荷揚げされるララの救援物資 昭和22年(1947)



日本へ贈られた衣服 昭和22年(1947)

ララ物資

～太平洋を渡って差しのべられた救いの手～

※ L A R A = Licensed Agencies for Relief in Asia



ミルクの樽をかついで遊ぶ男児たち 昭和23年(1948)頃



アメリカから贈られた種を蒔く子どもたち 昭和22～23年(1947～1948)



日本は、昭和20年(1945)8月15日に終戦を迎え、人びとは焼け跡の中から戦後の一歩を踏み出すことになりました。

空襲におびえる毎日はありませんでしたが、国内の物資不足は、深刻さを増し、人びとの暮らしは一層苦しいものになりました。戦中から配給制度が引き継がれましたが、物資不足から遅配や欠配が頻発し、都市部では多くの餓死者が出ました。街は空襲などで家族を失った戦災孤児たちであふれ、残飯をあさったり、物乞いをしたりして食いつなぎようとする姿が見られました。

このような日本の危機に、アメリカのアジア救援公認団体 LARA(ララ※)から日本へ、食糧、衣類、医薬品、雑貨など大量の救援物資が届けられました。これが「ララ物資」と呼ばれました。

今回の写真展では、当館がアメリカ・フレンズ奉仕団より入手したララ物資関連の貴重な写真を中心に紹介いたします。



救援物資を乗せたトラック 昭和24～26年(1949～1951)



ララから届いた乳牛 昭和22年(1947)



定時制の実業高校で配られたミルク 昭和26年(1951)



〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1 TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575
ホームページ <http://www.showakan.go.jp>

- 交通のご案内
 - 電車ご利用の場合 地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線4出口)
JR飯田橋駅から徒歩約10分
 - 車をご利用の場合 首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)
普通乗用車専用駐車場がご利用になれます。
- 有料駐車場(30分200円)

